

一般質問

伝統芸能の継承には伝統芸能継承

基金設立や伝統芸能伝承館が必要！

中心市街地活性化のための取り組みについて

中瀬議員

(1)日本中で比類無き伝統芸能黒丸踊は、後世へ伝承すべき伝統芸能の一つ。昨年は埼玉アリーナで「伝統芸能保存継承賞受賞記念公演。今年には県の要請で釜山へ。出演者の負担は大きい、隣国との交流の榮譽と任務は大きな責任。伝統芸能の伝承は、親から子や孫への地域社会の絆も同時に伝えていく青少年健全育成の役割も担っている。市内20近くの伝統芸能を守り、次世代へ引き継いで

市長 (1)歴史を活かしたまちづくりをしようとしている中で、地域で育ててこられた郷土芸能は支援しなければならないと考えている。現在、市民の寄附による文化基金を活用し、保存育成、活動費の一部の補助を行っている

いくには関係者の負担に頼るだけでは無理。伝統芸能伝承基金と市民や観光客へ披露できる伝統芸能伝承館の設立が必要と思う。市長のお考えを聞かせたい。 (2)中心市街地の活性化はこれからの高齢化社会を先取りした考えが大事。そのためには中心市街地全体を見据えた事業や取り組みが求められる。それには複数の商店会の一体化した協力が不可欠。市はどのような働きかけや協力をお考えか？

るが十分ではない。今後、市民と行政が一体となって文化基金を拡充していきたい。郷土芸能伝承のための基金の設置については研究課題とし、当面は文化基金で対応したい。郷土芸能伝承館については、大村が誇る郡三踊

など、歴史観光にも結びつくものであり、構想を持つている。将来の課題として研究する。

商工観光部長 (2)中心市街地活性化の核として上駅通り地区市街地再開発事業があるが、あくまで起爆剤である。周辺商店街の取り組みと合わせて面的な賑わいを展開することが重要である。6つの商店街では様々なイベントを展開し、賑わいの創出や売上拡大を図っておられる。今後一層中央商店街としての取り組みを強化し、活性化を進めていただきたいと考えている。

(その他の質問事項)
・観光戦略
・都市計画
・地場産業育成
・がん予防と健康診断



釜山で公演を行う黒丸踊

重要な資産の運用は

長期的ビジョンが必要です！

村崎議員

(1)入国管理センター跡地は市庁舎を含めた公共施設の候補地として「うつつけの土地」である。取得前は給食調理場の候補地であると説明してきたが、現時点はどうのようになっているのか。当面はスポーツを楽しまつ広場にするようだが、それは目先のこと。6億円以上する重要な資産なのだから、長期的なビジョンを示さないと市民は混乱する。いつまでに、明確なビジョンを示すのか。また、市長としてはどのような用途がふさわしいと

市長 (1)本市にとって市街地の中に残された唯一の広くまとまった利用しやすい土地である。この土地の一部を給食調理場として使うことは、広大な土地の最大活用、有効活用につながる重要なことかと考えていない。中長期を展望する場合、白紙であるが市庁舎立地

考えているのか。

(2)市が主催する懇話会や市民会議などに、若年世代を巻き込むべきではないか。地域の先輩方のご意見も重要だが、若年世代の声が反映される場が極端に少ない。例えば、新幹線について議論するならば、新幹線を活用する世代をメンバーに入れるべきだ。幅広い分野で設置されている懇話会や市民会議に、最低1名は30歳以下の男女を1名ずつ入れるような配慮がなされてもよいと思うが、どうか。

も選択肢の一つである。市民の皆さんにご理解をいただいて3年以内に向付けをしたい。当面は暫定的であることを明確にして、多目的スポーツ広場として活用するよう考えている。道州制を見据えながらこの場所を最大限に活用することで大村市の将来の展望が開け

ると考えている。(2)若い世代の新鮮ではつらつとした発想、ご意見は非常に市の活性化につながるという認識は持っている。懇話会等への参画については、これから検討し、各団体からの推薦や公募にも気を配りながら、若い方に参加いただく状況をつくってきたい。

(その他の質問事項)
・建設工事の最低制限価格の引き上げについて
・新幹線新駅の方角性について



有効活用が求められる入国管理センター跡地